

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

企業や個人から寄贈された食品を、支援を必要とする人達を支える非営利団体に無償で分配する活動をしています。

vol.40

2019.03.20発行

topic
01

試食会も大好評！

こども食堂シンポジウム



第2部はシンポジウム（於：芦屋市福祉センター）。スライド写真での兵庫こども食堂ネットワーク加入のこども食堂紹介に続いて、4つのこども食堂が活動紹介をしました。それぞれ形態や開催頻度など違いはあるけれど、地域でゆるやかなつながりを築いていき、こどもたちを見守っていくという思いは共通していて、目的やコンセプトをしっかりとって活動しておられます。こども食堂の存在意義や可能性がみなさんにしっかり伝わったのではないのでしょうか。

次に、こども食堂支援の輪を広げていくにはどうすればよいか、ネットワークの役割、今後の在り方について一緒に考えていくパネルディスカッションを行いました。



運営側、支援する側それぞれの立場からの率直な発言が相次ぎました。特に支援する側からのお話は普段聞く機会が少ないだけに、興味深いもので、よかったとの声も多く聞かれました。

またこども食堂の効果の検証にも話題が移り、エビデンスの必要性はあるものの、地域づくりのツールとして長い目で見ていく必要があるのではと締めくくられました。多業種、より多くの人たちをネットワークに巻き込んで、こども食堂を支える人たちを増やしていくことにより、こども食堂のさらなる普及と継続発展につなげたいと思います。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

広く知られるようになった「こども食堂」の現状を知り今後を考えるためのシンポジウムを2019年2月26日に開催しました。

第1部はフードバンク関西らしさを出そうと、当法人に提供いただいている食材、このためにご寄付いただいた食材を使って料理を作り、来場者のみなさんに試食していただく「こども食堂0円キッチン」を試みました（於：木口記念会館多目的室）。調理を担当してくださったのは、腕自慢の3つのこども食堂のみなさん。朝早くから鍋やホットプレート持参で来てくださり、用意された食材で手際よく、しかも楽しそうに作業を進めていく姿にびっくり。コープこうべの職員の方たちが、店舗を回って集めてきて下さった食品を見て「これもできるね」と即興で1品、2品と増えていきます。

フードバンク関西のボランティアもおにぎり隊として約200個のおにぎり作りに奮闘しました。お皿に乗りきらないほどのメニューになり、盛り付けに四苦八苦し始めたころ、試食参加者が集まりはじめ、あっという間に会場いっぱいになりました。試食に参加したのは総勢95名。テーブルを囲んで美味しい料理をいただき、知らない人同士でも会話ははずみ、交流が深まったようでした。

★参加者のみなさまからの感想の一部です。

- ・メニューが多いのにびっくりしました。
- ・薄味でやさしい味付けでおいしかったです。
- ・野菜が多く、栄養的にもよさそう。
- ・作り方を知りたかった。

広げよう！フードドライブの輪！

食品ロスの約半数は、家庭から出ていると言われています。

買ったのにうっかり忘れている食品、手つかずのまま食品庫や冷蔵庫の隅に眠っている食品たち。暮らしの足元を見つめてみると、どの家庭にも案外あるものです。賞味期限が残っているうちにそれを集めて、必要とされるところに届けましょう、というフードドライブの活動にフードバンク関西は取り組んでいます。



平成30年度のフードドライブ実施状況

現在、神戸市環境局が市内の量販店に働きかけて実施しているフードドライブに当団体も協働しています。実施しているのは、ダイエーが神戸市内6店舗、イオンが市内全7店舗、トホーストアは1店舗でそれぞれ毎月7日間。コープこうべは年2回、1月と8月に全店舗で開催しています。神戸市以外では、阪神間のダイエー5店舗もこの取り組みに参加しています。

回収合計量を月平均で見ると、ダイエーが61キロ、イオンで80キロという数字になります。

また、コープこうべの1月の取り組みでは1400キロにもなりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。このほか、町内会や学校、企業などに働きかけ、地域や職場でのフードドライブの開催に協力し、この取り組みの認知の広がりを進めてまいります。



NEWS !

「廃棄」より「寄付」を！ 企業にとっての税制メリットが拡大しました。

企業が、食品ロス削減のためフードバンク等へ食料品を寄贈・提供した場合の法人税法上の取り扱いについて、2018年12月19日、国税庁と農林水産省より、「一定の条件のもと、経費として全額損金算入を認める旨」が発表されました。同庁のHPによると、全額損金算入できる基準は、食品衛生上の問題がなく、事業者の商品管理のルール上、販売困難と判断した廃棄予定の食品をフードバンクが回収した場合。また、企業とフードバンクの間で、農林水産省が公表している手引を参考に、合意書を取り交わす必要があります。

これまで食料品の寄贈・提供については、国税庁から寄付として扱われ、一定限度額までしか損金算入されないというリスクがありました。そのため、寄付に伴う税負担よりも、全額損金算入できる廃棄処分を選択する企業が多くなる傾向にありました。今回の措置により、企業からの食品寄贈が増えることが期待されます。

集められた食品は・・・

フードドライブによって集められた食品は、当団体に一旦届けられます。私たちはまず、賞味期限が切れていないか、破損などがないかを検品します。それから、「米」「麺類」「調味料」などというように品目別に仕分けをし、福祉施設向けに分配したり、支援が必要な母子家庭に送付したり、自治体の支援要請に応じて困窮状態に陥った市民への緊急食糧支援に活用します。



どんな食品が集まるの？・・・

未開封で賞味期限まで1か月程度ある市販品です。米・乾麺（パスタ、そうめんなど）・缶詰・レトルト食品・海苔・ふりかけ・調味料など。食事の主菜、副菜に使える食品が、受け取る方達に喜ばれます。



✕ こんな食品はお断りしています

生鮮食品や要冷品は、保管や配送上の管理ができないためにお断りしています。酒類、サプリメント、薬は対象外です。成分表示や賞味期限表示がないもの、海外の食品で日本語の説明のないものも困ります。袋が破れていたり、箱が壊れて中身が出てしまっているものはお断りしています。善意で送っていただけるものが、必要とされる方に確かに届くように、皆さまにご理解とご協力をお願い申し上げます。

知ってますか？ 自分の「食べもの捨てちゃった！」が 記録できるアプリ

神戸市とNPO法人「ごみじゃぱん」が協働して運営している「食品ロスダイアリー」というアプリをご存知ですか？



「<https://gomi-jp-foodloss.com/>」

「記録すれば減る！」を旗印に、実証実験が開始されたWebアプリケーションです。毎日の生活の中で、食品を使わずに捨ててしまった、あるいは食べ残しを捨ててしまった日に、何をどれくらい（重さ）捨ててしまったのかを、Web上に記録していくものです。神戸市と「ごみじゃぱん」が、2016年から3年、国内初の家庭における食品廃棄に関する詳細な実態調査（食品ロスダイアリー）を実施してきた結果、食品ロスダイアリーの学習効果が食品ロスの削減に効果があることが判明。そこでこのアプリが試作されました。現在、アプリに登録して調査に協力する方を募集中だそうです。ご興味のある方はこのサイトにアクセスしてみてくださいはいかがでしょうか。

出典：神戸大学大学院経済学研究科教授
NPOごみじゃぱん代表理事
石川雅紀さん



食品ロスの量を記録するだけで、減るの！？

自分の食品ロスの量が「見える化」されることで、意識が変わったり、気を付けることで、減った人が多かったよ。



- 食品ロスダイアリーに参加したモニターの食品ロス量は、週毎に減少する傾向があり、記録することによる学習効果が働いている可能性があります。特に、「値引き商品をつい買ってしまふ」「賞味期限が切れたものをすぐに捨てる」という行動をしていた世帯では減少割合が高く、記録することで行動が見直され、ロスが減ったと考えられます。
- 一方、子どものいる世帯では減少割合が比較的低く、ダイアリーによる気づきや自省だけで削減できる余地が小さいことが推測されます。

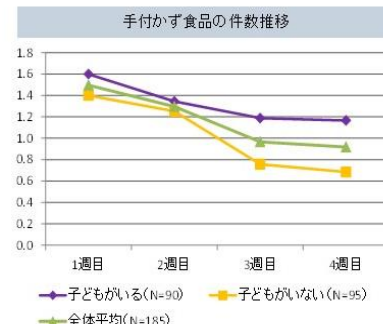


ダイアリーを記入する前は、食品ロスはほとんどないと思っていたが、食品ロスがないという真が1週間もなく、少しびっくりです。



捨ててしまう物は同じような物が多いと気づきました。外食が減ったり、「家に帰ってから何が残っているかも？」と思うようになりました。…実際冷蔵庫にいろいろ残っていることが多かったです。

※モニター感想より



©石川雅紀

Topic
02

食品ロスの問題をみんなで考える場を持ちました

映画「ゼロ円キッチン」上映会とパネルトーク開催報告

当法人初となる自主開催イベントを2018年10月28日に開催しました（於：神戸アートビレージセンター）。映画上映後に行った、映画監督の重江良樹さんを交えたパネルトークでは、参加された皆さんからの質疑応答が大変盛り上がり、食品ロスに対する関心の高さがうかがえました。中には、日本版のゼロ円キッチンの開催を提案される声もあり、私たちの今後の活動に大きな刺激をいただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。



質疑応答も盛り上がりました



ゲストの重江さん(左)



フードロスについてパネルトーク

Topic
04

貴重な意見交換の場です

企業・受取団体情報交換会

日頃食品を提供してくださる企業様と受取団体様、その橋渡しをする当法人の3者が集まって、2019年1月30日、木口記念会館大会議室で情報交換会を開催しました。取扱商品の基本的な条件について再確認を行い、また食品の近況や仕分け、検品など管理状況などについて情報を共有しました。また、受取団体様からは受取食品についてのご感想やご意見、ご要望など率直なご意見をいただく好機会となりました。



Topic
03

年末恒例イベントが無事終了

ラッフルキルト抽選会&懇親会

恒例のラッフルキルト抽選会が、2018年12月5日、ホテルモントレー大阪で開催されました。素晴らしいキルト作品とともに、ご協賛いただいた企業様からの賞品の抽選を楽しみつつ、和気あいあいとした懇親会になりました。



あなたのご支援で「もったいない」を「ありがとう」に！

クレジットカードで手軽に寄付ができます！

●公式ホームページから

<https://foodbankkansai.org/donate-money/>

●寄付サイト

Give One (ギブワン)

<http://www.giveone.net/>

つながる募金

<https://www.softbank.jp/mobile/service/tsunagaru-bokin/>

●郵便振替

郵便局窓口でご入金下さい。

口座番号：

00940-4-221867

●銀行振込

三井住友銀行 芦屋駅前支店

口座番号:4032415

※どちらも口座名義は

特定非営利活動法人フードバンク関西

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

<https://foodbankkansai.org/>

神戸市東灘区深江本町1-8-16/バレル芦屋101 TEL078-855-7025 FAX078-855-7028

E-mail:info@foodbankkansai.org